

平成20年度春夏作芝関係 除草剤・生育調節剤試験判定結果

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成20年度春夏作芝関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成20年12月1日(月)～2日(火)に第一杉戸両国において開催された。

この検討会には、試験場関係者14名、委託関係者57名ほか、計84名の参集を得て、除草剤29薬剤(307点)、生

育調節剤5薬剤(22点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成20年度 春夏作芝関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類・継 続の別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草; ねらい] ・処理時期 ・薬量g/mL(水量L)/㎡ ・処理方法	判定	判定内容
1. AKD-7175粒 DBN:1.2%, シアジン:3% [アグロネシヨ]	コウライシ バ	適用性 継続	東日本G研 植調埼玉 新中国G研 西日本G研 (4)	[一年生雑草、多年生広葉雑草、スギナ] ・芝生育期 雑草発生前 ・8, 10, 12g ・土壌処理 対)一任	実・ 継	実) [春夏作; (コウライシバ) 一年生雑草、多年生広葉雑草、スギナ] ・芝生育期、雑草発生前～発生初期 ・8～12g/㎡ ・土壌処理 継) ・連用試験での確認(コウライシバ) ・実証試験での確認(コウライシバ) ・効果の確認された草種; エノコグサ、アキヒシバ、ヒシバ、オアレチギク、オオムラサキ、エシキリ、ヒメジョオン、ヤハズ、ワウ、ツクシ、カタバミ、シロツメクサ、スギナ
	コウライシ バ	適用性 継続	東日本G研 植調埼玉 新中国G研 西日本G研 (4)	[一年生雑草、多年生広葉雑草、スギナ] ・芝生育期 雑草発生前 ・8, 10, 12g ・土壌処理 対)一任		
	コウライシ バ	作用性 新規	東日本G研 新中国G研 (2)	[萌芽期薬害(兼倍量薬害)] ・芝萌芽期 ・8, 12, 24g ・土壌処理		
	コウライシ バ	作用性 新規	新中国G研 西日本G研 (2)	[高温期薬害(兼倍量薬害)] ・芝生育期 ・8, 12, 24g ・土壌処理		
2. ALH-024顆粒水和 新規化合物:70% [アリスタライサイエンス]	コウライシ バ	適用性 継続	東日本G研 植調埼玉 西日本G研 (3)	[一年生広葉雑草、スミメノカタビラ] ・芝生育期 雑草発生前 ・0.175, 0.025, 0.0375, 0.05g <100-200> ・茎葉兼土壌処理 対)一任	継	継) ・効果、薬害の確認 (コウライシバ、ノシバ)
	ノシバ	適用性 継続	植調埼玉 新中国G研 西日本G研 (3)	[一年生広葉雑草、スミメノカタビラ] ・芝生育期 雑草発生前 ・0.175, 0.025, 0.0375, 0.05g <100-200> ・茎葉兼土壌処理 対)一任		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/m ² ・ 処理方法	判 定	判定内容
3. BEH-447フロアブル ホラムフロアブル: 2.3% [ハ'イェルクロップサイエンス]	コウライシ ハ'	適用性 継続	東日本G研 浜松シサイト GC 新中国G研 西日本G研 (4)	[一年生雑草, 多年生雑草] ・ 芝生育期 雑草生育期 ・ 0.15, 0.2, 0.25mL<100-150> ・ 茎葉処理 対) モニュメント顆粒水和 0.0045g<100-150>	実 ・ 継	実) [春夏作; (コウライシハ', ノシハ')] 一年 生雑草, 多年生広葉雑草] ・ 芝生育期, 雑草生育期 ・ 0.2~0.25mL<100~150mL>/m ² ・ 茎葉処理
	ノシハ'	適用性 継続	東日本G研 浜松シサイト GC 新中国G研 西日本G研 (4)	[一年生雑草, 多年生雑草] ・ 芝生育期 雑草生育期 ・ 0.15, 0.2, 0.25mL<100-150> ・ 茎葉処理 対) モニュメント顆粒水和 0.0045g<100-150>	継)	・ 低薬量 (0.15mL) での効果の確認 (コウライシハ', ノシハ') ・ 連用試験での確認 (コウライシハ', ノシハ') ・ 実証試験での確認 (コウライシハ', ノシハ') ・ 萌芽期薬害の確認 (コウライシハ', ノシハ') ・ 高温期薬害の確認 (コウライシハ', ノシハ')
	コウライシ ハ'	作用性 新規	植調埼玉 関西G研 (2)	[倍量薬害] ・ 芝生育期 雑草生育期 ・ 0.25mL<100> ・ 0.5mL<200> ・ 1.0mL<400> ・ 茎葉処理		・ 効果の確認された草種 メシハ', オアレチノギク, ヒメムカシヨモギ, コシ キソウ, トキンソウ, ヤハズ' ヲイタダ', ハキダ' メギ ク, ノボ' ロギ' ク, チト' メグ' サ, セイヨウタンポポ', カタハ' ミ
	ノシハ'	作用性 新規	植調埼玉 関西G研 (2)	[倍量薬害] ・ 芝生育期 雑草生育期 ・ 0.25mL<100> ・ 0.5mL<200> ・ 1.0mL<400> ・ 茎葉処理		
4. BEH-507フロアブル インダジフラム: 20% [ハ'イェルクロップサイエンス]	コウライシ ハ'	適用性 継続	東雲GC 東日本G研 新中国G研 西日本G研 (4)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.02, 0.025, 0.03mL <200-300> ・ 土壌処理 対) イデ' トップ' フロアブル 0.08mL<200-300>	実 ・ 継	実) [春夏作; (コウライシハ', ノシハ')] 一 年生雑草] ・ 芝生育期, 雑草発生前 ・ 0.02~0.03mL<200~300mL>/m ² ・ 土壌処理
	ノシハ'	適用性 継続	東雲GC 東日本G研 新中国G研 西日本G研 (4)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.02, 0.025, 0.03mL <200-300> ・ 土壌処理 対) イデ' トップ' フロアブル 0.08mL<200-300>	継)	・ 連用試験での確認 (コウライシハ', ノシハ') ・ 実証試験での確認 (コウライシハ', ノシハ') ・ 萌芽期薬害の確認 (コウライシハ', ノシハ') ・ 高温期薬害の確認 (コウライシハ', ノシハ')
	コウライシ ハ'	作用性 新規	植調埼玉 関西G研 (2)	[倍量薬害] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.03mL<200> ・ 0.06mL<400> ・ 0.12mL<800> ・ 土壌処理		・ 効果の確認された草種 メシハ', ウラジ' ロチコグ' サ, ヒメムカシヨモギ, コ シキソウ, ヤハズ' ソウ, クワサ, トキンソウ, ヲメクサ, イヌサデ', ハキダ' メギ' ク
	ノシハ'	作用性 新規	植調埼玉 関西G研 (2)	[倍量薬害] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.03mL<200> ・ 0.06mL<400> ・ 0.12mL<800> ・ 土壌処理		
	コウライシ ハ'	作用性 新規	東日本G研 新中国G研 (2)	[連用薬害] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.03mL<200-300> ・ 土壌処理		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・雑 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/m ² ・ 処理方法	判 定	判定内容
BEH-507707フル	ノシバ	作用性 新規	東日本G研 新中国G研 (2)	[連用薬害] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.03mL<200-300> ・ 土壌処理		
5. BES-003顆粒水和 エドスルフロメタリウム 塩:2%, ナリジンクロム:30% [ハイルクロップサイエンス]	コウライシバ	適用性 継続	東日本G研 新中国G研 西日本G研 (3)	[一年生雑草, 多年生広葉雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.075, 0.1, 0.15g<200-300> ・ 土壌処理 対) グラトッパ DF 0.25g<200-300>	実・ 雑	実) [春夏作; (コウライシバ, ノシバ) 一 年生雑草及び多年生広葉雑 草] ・ 芝生育期, 雑草発生前 ・ 0.075~0.15g<200-300mL>/m ² ・ 土壌処理
	ノシバ	適用性 継続	東日本G研 新中国G研 西日本G研 (3)	[一年生雑草, 多年生広葉雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.075, 0.1, 0.15g<200-300> ・ 土壌処理 対) グラトッパ DF 0.25g<200-300>	雑	・ 倍量薬害試験での年次変動の確認 (例数不足: コウライシバ, ノシバ) ・ 連用試験での確認 (コウライシバ, ノシバ) ・ 実証試験での確認 (コウライシバ, ノシバ) ・ 萌芽期薬害の確認 (コウライシバ, ノシバ) ・ 高温期薬害の確認 (コウライシバ, ノシバ) ・ 効果の確認された草種 メヒシバ, エノコグサ, ウラジロチチグサ, ハル ジオン, *コシキソウ, ヤハズリウ, トキハヒ, ノ ボロギク, ヒメカシヨモギ, オアレチナギク, チ ドメグサ, カハミ, シロメグサ *年によって効果の劣る事例がある
6. DAH-0565水和 シクロフタニル:1%, ボリカーバート:50% [タウケミカル日本]	ベントグ ラス	適用性 継続	東日本G研 新中国G研 西日本G研 (3)	[藻類] ① 芝生育期, 藻類発生始 (単用) ・ 2.3g<500> ・ 茎葉処理 ② 芝生育期, 藻類発生始 → 藻類再生始 (2回処理) ・ 2→2g<500>, 3→3g<500> ・ 茎葉処理 対) コーレット水和 3g<1000>	実・ 雑	実) [(ベントグ) 藻類] ・ 芝生育期, 藻類発生期 ・ 2~3g<500mL>/m ² 2回以内 ・ 茎葉処理
	ベントグ ラス	作用性 新規	東日本G研 関西G研 (2)	[倍量薬害] ・ 芝生育期 藻類発生始 ・ 3g<500> ・ 6g<1000> ・ 12g<2000> ・ 茎葉処理		雑) ・ 連用試験での確認 (ベントグ) 藻類) ・ 実証試験での確認 (ベントグ) 藻類) ・ 高温期薬害の確認 (ベントグ) 藻類)
7. DAH-0712707フル プロピサミド:35% [タウケミカル日本]	コウライシバ	適用性 新規	植調埼玉 門司GC (2)	[一年生雑草 (科を除く)] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.375, 0.5, 0.625mL <200-300> ・ 土壌処理 対) カブ水和 0.4g<200-300>	雑	雑) ・ 効果, 薬害の確認 (コウライシバ, ノシバ)
	ノシバ	適用性 新規	植調埼玉 門司GC (2)	[一年生雑草 (科を除く)] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.375, 0.5, 0.625mL <200-300> ・ 土壌処理 対) カブ水和 0.4g<200-300>		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/m ² ・ 処理方法	判 定	判定内容
DAH-0712707アル [委託者]	コウライシ バ	作用性 新規	植調埼玉 門司GC (2)	[倍量薬害] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0. 625mL<200> ・ 1. 25mL<400> ・ 2. 5mL<800> ・ 土壌処理		
	ノシバ	作用性 新規	植調埼玉 門司GC (2)	[倍量薬害] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0. 625mL<200> ・ 1. 25mL<400> ・ 2. 5mL<800> ・ 土壌処理		
8. DAH-0808EW ジチオビル:24% [ダウ・ケミカル日本]	コウライシ バ	適用性 新規	泉パークタウGC 東日本G研 埼玉スタジアム2002 浜松・サイト GC 関西G研 新中国G研 西日本G研 (7)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0. 1, 0. 2, 0. 3mL<200-300> ・ 土壌処理 対) デイクトン乳 0. 15mL<200-300>	実 ・ 継	実) [春夏作; (コウライシバ、ノシバ) 一年 生イ科雑草] ・ 芝生育期、 雑草発生前 ・ 0. 1~0. 2mL<200~300mL>/m ² ・ 土壌処理 [春夏作; (コウライシバ、ノシバ) 一年生 広葉雑草] ・ 芝生育期、 雑草発生前 ・ 0. 2~0. 3mL<200~300mL>/m ² ・ 土壌処理 [春夏作; (ケンタッキー ブルーグラス) 一年 生雑草] ・ 芝生育期、 雑草発生前 ・ 0. 1~0. 2mL<200~300mL>/m ² ・ 土壌処理 注) ・ 高温期の使用では葉の濃緑化な どがみられる事がある 継) ・ 年次変動の確認 (コウライシバ、ノシバ、ケンタッキー ブルーグラス) ・ 連用試験での確認 (コウライシバ、ノシバ、ケンタッキー ブルーグラス) ・ 実証試験での確認 (コウライシバ、ノシバ、ケンタッキー ブルーグラス) ・ 萌芽期薬害の確認 (コウライシバ、ノシバ) ・ 効果の確認された草種
	ノシバ	適用性 新規	泉パークタウGC 東日本G研 那須ナースー 植調埼玉 関西G研 新中国G研 西日本G研 (7)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0. 1, 0. 2, 0. 3mL<200-300> ・ 土壌処理 対) デイクトン乳 0. 15mL<200-300>		
	ケンタッキー ブルーグ ラス	適用性 新規	植調北海道 泉パークタウGC グランドイ那須GC 東日本G研 那須ナースー 埼玉スタジアム2002 新中国G研 (7)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0. 1, 0. 2mL<200-300> ・ 土壌処理 対) バイザ水和 0. 1g<200-300>		
	コウライシ バ	作用性 新規	東日本G研 関西G研 (2)	[高温期薬害] ・ 芝生育期 梅雨明け後 ・ 0. 1, 0. 2, 0. 3mL<200> ・ 土壌処理		
	ノシバ	作用性 新規	東日本G研 関西G研 (2)	[高温期薬害] ・ 芝生育期 梅雨明け後 ・ 0. 1, 0. 2, 0. 3mL<200> ・ 土壌処理		
	ケンタッキー ブルーグ ラス	作用性 新規	グランドイ那須GC 那須ナースー (2)	[高温期薬害] ・ 芝生育期 梅雨明け後 ・ 0. 1, 0. 2mL<200> ・ 土壌処理		
	コウライシ バ	作用性 新規	新中国G研 西日本G研 (2)	[倍量薬害] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0. 3mL<200> ・ 0. 6mL<400> ・ 1. 2mL<800> ・ 土壌処理		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/m ² ・ 処理方法	判 定	判定内容
DAH-0808EW	ノシバ	作用性 新規	東日本G研 新中国G研 (2)	[倍量薬害] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.3mL<200> ・ 0.6mL<400> ・ 1.2mL<800> ・ 土壌処理		
	ケンタッキー ブルーグラス	作用性 新規	グランドイ那須GC 新中国G研 (2)	[倍量薬害] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.2mL<200> ・ 0.4mL<400> ・ 0.8mL<800> ・ 土壌処理		
9. DH-024顆粒水和 フルホキサメ:50% [日本曹達]	ハーフミュー ダグラス	適用性 新規	浜松サイト GC 新中国G研 西日本G研 (3)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.15, 0.2, 0.3g<200-300> ・ 土壌処理 対) ウェイマープ FL 0.6g<200-300>	実・ 継 (従 来 ど お り)	実) [春夏作; (コライシバ、ノシバ) 一 年生雑草] ・ 芝生育期、 雑草発生前 ・ 0.15~0.3g<200~300mL>/m ² ・ 土壌処理。 継) ・ 効果、薬害の確認 (ハーフミューダグラス) ・ 倍量薬害試験での確認 (コライシバ、ノシバ、ハーフミューダグ ラス) ・ 連用試験での確認 (コライシバ、ノシバ、ハーフミューダグ ラス) ・ 実証試験での確認 (コライシバ、ノシバ、ハーフミューダグ ラス)
10. DPX-F6025 顆粒水 和 クロロムロンフェル:25% [丸和ハーフイオミカル、テ ィボン]	コライシ バ	適用性 継続	東日本G研 新中国G研 西日本G研 (3)	[広葉雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.2, 0.3, 0.4g<200> ・ 土壌処理 対) インパード 0.03g<200>	実・ 継 (従 来 ど お り)	実) [春夏作; (コライシバ、ノシバ) 広 葉雑草] ・ 芝生育期、 雑草発生前~生育期 0.02~0.04g<200mL>/m ² 茎葉処理 [春夏作; (コライシバ、ノシバ) とメダグ、 ハスダグ] ・ 芝生育期、 雑草発生揃~発生初期 ・ 0.01~0.015g <150~200mL>/m ² ・ 茎葉処理 継) ・ 広葉雑草生育期の効果、薬害に ついて、年次変動の確認 (コライシバ) ・ 倍量薬害試験での確認 (コライシバ、ノシバ) ・ 連用薬害試験での確認 (コライシバ、ノシバ) ・ 実証試験での確認 (コライシバ、ノシバ) ・ 効果の確認された草種:
	ノシバ	適用性 継続	東日本G研 新中国G研 西日本G研 (3)	[広葉雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.2, 0.3, 0.4g<200> ・ 土壌処理 対) インパード 0.03g<200>		
	ノシバ	適用性 継続	東日本G研 新中国G研 西日本G研 (3)	[広葉雑草] ・ 芝生育期 雑草生育期 ・ 0.2, 0.3, 0.4g<200> ・ 土壌処理 対) インパード 0.03g<200>		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・処理時期 雑草発生前 ・葉量g・mL<水量L>/m ² ・処理方法	判 定	判定内容
11. GG-180粒 シナジン:1%, DBN:0.5% [日本グリーンアンド・ガーデン]	コウライシバ	適用性 新規	泉パークタウンGC 那須ナセー 植調埼玉 新中国G研 (4)	[多年生広葉雑草、スギナ] ・芝生育期 雑草発生前 ・20, 30, 40g ・土壌処理 対)ベンボル粒 15g	実・継 (従来どおり)	実) [春夏作; (コウライシバ) 一年生雑草] ・芝生育期、雑草発生前～初期 ・20～40g/m ² ・土壌処理 注) ・高温期での処理は芝に葉害を生じることがある 継) ・多年生広葉雑草、スギナに対する効果の確認 (コウライシバ) ・倍量葉害試験での確認 (コウライシバ) ・連用試験での確認 (コウライシバ) ・実証試験での確認 (コウライシバ)
	コウライシバ	適用性 新規	泉パークタウンGC 那須ナセー 植調埼玉 新中国G研 (4)	[多年生広葉雑草、スギナ] ・芝生育期 雑草発生前 ・20, 30, 40g ・土壌処理 対)ベンボル粒 15g		
12. GG-191粒 トリアジン:0.1%, DBN:0.5%, N:P:K:Mg=11:8:7:3 [日本グリーンアンド・ガーデン]	コウライシバ	適用性 継続	太平洋C美野里C 新中国G研 西日本G研 (3)	[一年生雑草] ・芝生育期 雑草発生前 ・20, 30, 40g ・土壌処理 対)テマックス粒 30g	実・継	実) [春夏作; (コウライシバ) 一年生雑草] ・芝生育期、雑草発生前～発生初期 ・20～40g/m ² ・土壌処理 継) ・連用試験での確認 (コウライシバ) ・実証試験での確認 (コウライシバ)
	コウライシバ	適用性 継続	太平洋C美野里C 新中国G研 西日本G研 (3)	[一年生雑草] ・芝生育期 雑草発生前 ・20, 30, 40g ・土壌処理 対)ベンボル粒 15g		
	コウライシバ	作用性 新規	東日本G研 西日本G研 (2)	[萌芽期葉害 (兼倍量葉害)] ・芝萌芽期 ・20, 30, 40g ・土壌処理		
	コウライシバ	作用性 新規	東日本G研 西日本G研 (2)	[高温期葉害 (兼倍量葉害)] ・芝生育期 梅雨明け後 ・40, 80g ・土壌処理		
13. GL-41液 アシュラム:0.18%, メコップPカリウム塩: 0.18% [住友化学園芸]	コウライシバ	作用性 新規	植調研究所 新中国G研 (2)	[一年生雑草、多年生広葉雑草、スギナ] ・芝生育期 雑草生育期 (5-10cm) ・75, 100, 150, 200mL 〈希釈せずそのまま散布〉 ・茎葉処理	継	継) ・効果、葉害の確認 (コウライシバ)
	コウライシバ	適用性 新規	東日本G研 植調埼玉 関西G研 西日本G研 (4)	[一年生雑草、多年生広葉雑草、スギナ] ・芝生育期 雑草生育期 (5-10cm) ・75, 100, 150mL 〈希釈せずそのまま散布〉 ・茎葉処理 対) モノメント顆粒水和4.5mg<200>		
14. HCW-003顆粒水和 イマゾメタロン:35%, DBN:35% [保土谷UPL, 日本グリーンアンド・ガーデン]	コウライシバ	作用性 新規	新中国G研 (1)	[広葉雑草、ハマスガ、ヒメグサ] ・芝生育期 雑草発生前 ・0.1, 0.15, 0.2, 0.25g 〈200-300〉 ・茎葉兼土壌処理 対) シバタイ40水和 0.1mL<200-300>	継	継) ・効果、葉害の確認 (コウライシバ、ノシバ)

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/m ² ・ 処理方法	判 定	判定内容
HCW-003顆粒水和 [委託者]	ノシバ	作用性 新規	新中国G研 (1)	[広葉雑草, ハマスグ, ヒメクグ] ・ 芝生育期 雑草発生初期 ・ 0.1, 0.15, 0.2, 0.25g <200-300> ・ 茎葉兼土壌処理 対) シバ タイト40水和 0.1mL<200-300>		
	コウライシ バ	適用性 新規	東日本G研 新中国G研 西日本G研 (3)	[広葉雑草, ハマスグ, ヒメクグ] ・ 芝生育期 雑草発生初期 ・ 0.1, 0.15, 0.2g <200-300> ・ 茎葉兼土壌処理 対) シバ タイト40水和 0.1mL<200-300>		
	ノシバ	適用性 新規	東日本G研 新中国G研 西日本G研 (3)	[広葉雑草, ハマスグ, ヒメクグ] ・ 芝生育期 雑草発生初期 ・ 0.1, 0.15, 0.2g <200-300> ・ 茎葉兼土壌処理 対) シバ タイト40水和 0.1mL<200-300>		
15. KUH-079顆粒水和 ヒ [®] リスルファン:50% [クマイ化学工業]	コウライシ バ	適用性 継続	東日本G研 宇都宮大学 新中国G研 西日本G研 (4)	[広葉雑草] ・ 芝生育期 雑草発生初期 ・ 0.02, 0.03, 0.04g <100-200> ・ 茎葉処理 対) シバ タイト40水和 0.1mL<200-300>	実 ・ 継	実) [春夏作; (コウライシバ) 一年生広 葉雑草] ・ 芝生育期 雑草発生初期 ・ 0.03~0.04g <水量100~200mL>/m ² ・ 茎葉処理 継) ・ 低薬量 (0.02g) での効果の確認 (コウライシバ) ・ 多年生広葉雑草への効果の確認 (コウライシバ) ・ 倍量薬害での確認 (コウライシバ) ・ 連用試験での確認 (コウライシバ) ・ 実証試験での確認 (コウライシバ) ・ 萌芽期薬害の確認 (コウライシバ) ・ 高温期薬害の確認 (コウライシバ) ・ 効果の確認された草種
16. MBH-083顆粒水和 既知化合物:48% [丸和バ イチカ]	ヘ [®] トク ラス	作用性 新規	東日本G研 西日本G研 (2)	[ジカ類] ① 生育期, ジカ生育期 (単用) ・ 15g<500, 1000> ・ 茎葉処理 ② 芝生育期, ジカ生育期 (3回処理) ・ 15→15→15g<500-1000> ・ 茎葉処理 対) クスDF 0.06→0.06→0.06g <100-200>	継	継) ・ 効果, 薬害の確認 (ヘ [®] トク ラス)

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作 物 名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/m ² ・ 処理方法	判 定	判定内容
MBH-083顆粒水和 [委託者]	ヘントグ ラス	適用性 新規	東日本G研 新中国G研 (2)	[ワ類] ① 芝生育期、ワ生育期 (単用) ・ 15, 20g<500, 1000> ・ 茎葉処理 ② 芝生育期、ワ生育期 (2回処理) ・ 15→15g<500-1000> ・ 茎葉処理 対) タカDF ・ 0.06→0.06g<100-200>		
17. NC-340顆粒水和 ホロスポンヂル: 24%、 プロシアミン: 40% [日産化学工業]	ケンタッキー ブルグ ラス	適用性 継続	泉パークケンGC ケランデイ那須GC 東日本G研 那須ナセリ (4)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.15, 0.2, 0.3g<200-300> ・ 土壌処理 対) 一任	実 ・ 継	実) [春夏作; (コライシバ、ノシバ) 一年生 雑草] ・ 芝生育期、 ・ イネ科雑草発生前 ・ 0.2~0.3g<200~300mL>/m ² ・ 土壌処理 [春夏作; (ケンタッキーブルグラス) 一年 生イネ科雑草] ・ 芝生育期、 ・ イネ科雑草発生前 ・ 0.2~0.3g<200~300mL>/m ² ・ 土壌処理 継) ・ 低薬量 (0.15g) での効果の確認 (ケンタッキーブルグラス) ・ 一年生広葉雑草への効果の確認 ・ 効果の確認された草種:
18. NC-622液 グリホサートカリウム塩: 48% [日産化学工業]	ノシバ	適用性 継続	佐野GC 南長野GC 新中国G研 (3)	[雑草全般、スギナ、メジカ、カヤ、チガヤ] ・ 芝生育期 雑草生育期 (15-30cm) ・ 5, 10倍液 ・ 茎葉塗布処理	実	実) [春夏作; (ノシバ) 多年生雑草] ・ 芝生育期 雑草生育期 (15-30cm) ・ 5~10倍液 ・ 雑草茎葉塗布処理 注) ・ 専用器具を使用する ・ ノシバに薬液が付着すると、強い 葉害を生じるので注意する ・ 効果の確認された草種 スギナ、メジカ、カヤ、シロメダカ、チガヤ
19. NC-625顆粒水和 ピラジノスルホンイソル: 70% [日産化学工業]	コライシ バ	適用性 新規	東日本G研 佐野GC 植調埼玉 関西G研 新中国G研 西日本G研 (6)	[広葉雑草] ・ 芝生育期 雑草生育期 ・ 0.02, 0.025, 0.03g<150-300> ・ 茎葉処理 対) ヲリン水和 0.3g<150-300>	実 ・ 継	実) [春夏作; (コライシバ、ノシバ) 広 葉雑草、ヒメグサ、ハマスガ] ・ 芝生育期、 雑草生育期 ・ 0.02~0.03g<150~300mL>/m ² ・ 茎葉処理 [春夏作; (ヘントグラス) 広葉雑草] ・ 芝生育期、 雑草生育期 ・ 0.02~0.03g<150~300mL>/m ² ・ 茎葉処理
	ノシバ	適用性 新規	東日本G研 佐野GC 植調埼玉 関西G研 新中国G研 西日本G研 (6)	[広葉雑草] ・ 芝生育期 雑草生育期 ・ 0.02, 0.025, 0.03g<150-300> ・ 茎葉処理 対) ヲリン水和 0.3g<150-300>		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草:ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/m ² ・ 処理方法	判 定	判定内容
NC-625顆粒水和	ベントグ ラス	適用性 新規	札幌国際CC グランドイ那須GC 東日本G研 関西G研 新中国G研 西日本G研 (6)	[広葉雑草] ・ 芝生育期 雑草生育期 ・ 0.02, 0.025, 0.03g<150-300> ・ 茎葉処理 対) アグ リン水和 0.3g<150-300>		雑) ・ 年次変動の確認 (コウライバ、ノシバ、ベントグラス) ・ 連用薬害試験での確認 (コウライバ、ノシバ、ベントグラス) ・ 実証試験での確認 (コウライバ、ノシバ、ベントグラス) ・ 効果の確認された草種:
	コウライシ バ	適用性 新規	東日本G研 植調埼玉 静岡G場協会 関西G研 新中国G研 西日本G研 (6)	[ハスグ] ・ 芝生育期 雑草生育期 ・ 0.02, 0.025, 0.03g<150-300> ・ 茎葉処理 対) アグ リン水和 0.3g<150-300>		
	ノシバ	適用性 新規	東日本G研 植調埼玉 南長野GC 関西G研 新中国G研 西日本G研 (6)	[ハスグ] ・ 芝生育期 雑草生育期 ・ 0.02, 0.025, 0.03g<150-300> ・ 茎葉処理 対) アグ リン水和 0.3g<150-300>		
	コウライシ バ	適用性 新規	東日本G研 佐野GC 関西G研 花屋敷GC 新中国G研 西日本G研 (6)	[ヒメグ] ・ 芝生育期 雑草生育期 ・ 0.02, 0.025, 0.03g<150-300> ・ 茎葉処理 対) アグ リン水和 0.3g<150-300>		
	ノシバ	適用性 新規	SG白河矢吹 東日本G研 植調埼玉 関西G研 新中国G研 西日本G研 (6)	[ヒメグ] ・ 芝生育期 雑草生育期 ・ 0.02, 0.025, 0.03g<150-300> ・ 茎葉処理 対) アグ リン水和 0.3g<150-300>		
	コウライシ バ	作用性 新規	東日本G研 新中国G研 (2)	[萌芽期薬害(兼倍量薬害)] ・ 芝萌芽期 ・ 0.03g<150> ・ 0.06g<300> ・ 0.12g<600> ・ 茎葉処理 対) アグ リン水和 0.8g<300>		
	ノシバ	作用性 新規	東日本G研 新中国G研 (2)	[萌芽期薬害(兼倍量薬害)] ・ 芝萌芽期 ・ 0.03g<150> ・ 0.06g<300> ・ 0.12g<600> ・ 茎葉処理 ・ 対) アグ リン水和 0.8g<300>		
	コウライシ バ	作用性 新規	新中国G研 西日本G研 (2)	[高温期薬害(兼倍量薬害)] ・ 芝生育期(梅雨明け後) ・ 0.03g<150> ・ 0.06g<300> ・ 0.12g<600> ・ 茎葉処理 対) アグ リン水和 0.8g<300>		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/㎡ ・ 処理方法	判 定	判定内容
NC-625顆粒水和	ソバ	作用性 新規	新中国G研 西日本G研 (2)	[高温期葉害(兼倍量葉害)] ・ 芝生育期(梅雨明け後) ・ 0.03g<150> ・ 0.06g<300> ・ 0.12g<600> ・ 茎葉処理 対)アグリノ水和 0.8g<300>		
	ベントグ ラス	作用性 新規	新中国G研 西日本G研 (2)	[高温期葉害(兼倍量葉害)] ・ 芝生育期(梅雨明け後) ・ 0.03g<150> ・ 0.06g<300> ・ 0.12g<600> ・ 茎葉処理 対)アグリノ水和 0.8g<300>		
20. NHK-0617ロアブル ビラフルフェニル:2.0% [日本農業]	ベントグ ラス	適用性 新規	関西G研 新中国G研 西日本G研 (3)	[一年生雑草(アビシカ、メシバ、ス ミカサビラ)] ・ 芝生育期、 雑草生育期(分けつ前まで) ①単用処理; ・ 0.2, 0.4, 0.6mL<100-200> ②反復処理(2回); ・ 0.4→0.4mL<100-200> ・ 茎葉処理	継 (継)	・ 効果、葉害の確認(ベントグ ラス)
	ベントグ ラス	適用性 新規	関西G研 新中国G研 西日本G研 (3)	[多年生広葉雑草(チドリ、ササ、チコ サ類)] ・ 芝生育期、 雑草生育期(分けつ前まで) ③単用処理; ・ 0.2, 0.4, 0.6mL<100-200> ④反復処理(2回); ・ 0.4→0.4mL<100-200> ・ 茎葉処理		
	ベントグ ラス	適用性 継続	新中国G研 西日本G研 (2)	[コサ類] ・ 芝生育期、コサ類生育期 ・ 0.2, 0.4, 0.6mL<100-200> ・ 茎葉処理 対)タカDF 0.03g<100-200>	実 ・ 継	実) [春夏作; (ベントグ ラス)コサ類] ・ 芝生育期、 コサ類生育期 ・ 0.2~0.6mL<100-200mL>/㎡ ・ 茎葉処理 継) ・ 倍量葉害試験での確認 (ベントグ ラス) ・ 連用試験での確認(ベントグ ラス) ・ 実証試験での確認(ベントグ ラス)

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/m ² ・ 処理方法	判 定	判定内容
21. RGH-0601粒 ベンチメタリン:0.86%, NPK=24:4.5:8 [理研グループ]	ケンタッキー ブルーグラス	適用性 継続	札幌国際CC 泉パークタウンGC 宇都宮大学 鹿島南夢科 (4)	[一年生雑草(雑科を除く)] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 10, 15, 20g ・ 土壌処理 ・ 対) テマックス粒 15g	実・ 継	実) [春夏作; (コウライシバ、ノシバ) 一年生雑草(雑科除く)] ・ 芝生育期、 雑草発生前 ・ 20~25g/m ² ・ 土壌処理 [春夏作; (ケンタッキーブルーグラス) 一年生雑草(雑科除く)] ・ 芝生育期、 雑草発生前 ・ 10~20g/m ² ・ 土壌処理 継) ・ 倍量薬害試験での確認 (ケンタッキーブルーグラス) ・ 実証試験での確認 (ケンタッキーブルーグラス) ・ 連用薬害試験での確認 (コウライシバ、ノシバ、ケンタッキーブルーグラス) ・ 高温期薬害の確認 (コウライシバ、ノシバ、ケンタッキーブルーグラス)
22. SAH-001乳 メタリコップ:10% [丸和ハイオミカ、住商 アグロインターナショナル]	ノシバ	作用性 継続	東雲GC (1)	[メシバ、ヒシバ] ・ 芝生育期 雑草生育期 ・ 0.05, 0.1, 0.2, 0.4, 0.6mL <100-200> ・ 茎葉処理	実・ 継	実) [春夏作; (コウライシバ) メシバ、ヒシバ] ・ 芝生育期、 雑草生育期 ・ 0.1~0.3mL<100~200mL>/m ² ・ 茎葉処理 [春夏作; (ベントグラス) メシバ] ・ 芝生育期、 雑草生育期 ・ 0.1~0.3mL<100~200mL>/m ² ・ 茎葉処理
	ケンタッキー ブルーグラス	作用性 継続	埼玉スタジアム2002 (1)	[メシバ] ・ 芝生育期 雑草生育期 ・ 0.05, 0.1, 0.2, 0.4, 0.6mL <100-200> ・ 茎葉処理		
	ライグラス	作用性 継続	新中国G研 (1)	[メシバ] ・ 芝生育期 雑草生育期 ・ 0.05, 0.1, 0.2, 0.4, 0.6mL <100-200> ・ 茎葉処理		継) ・ 効果、薬害の確認 (ノシバ、ケンタッキーブルーグラス、ライグラス)
	コウライシバ	適用性 継続	東雲GC 東日本G研 佐野GC 埼玉スタジアム2002 関西G研 西日本G研 (6)	[メシバ、ヒシバ] ・ 芝生育期 雑草生育期 ・ 0.1, 0.2, 0.3mL<100-200> ・ 茎葉処理		・ 倍量薬害試験での確認 (コウライシバ、ノシバ、ケンタッキーブルーグラス、ライグラス) ・ 連用試験での確認 (コウライシバ、ノシバ、ベントグラス、ケンタッキーブルーグラス、ライグラス)
	ノシバ	適用性 新規	佐野GC 植調埼玉 新中国G研 (3)	[メシバ、ヒシバ] ・ 芝生育期 雑草生育期 ・ 0.1, 0.2, 0.3mL<100-200> ・ 茎葉処理		・ 実証試験での確認 (コウライシバ、ノシバ、ベントグラス、ケンタッキーブルーグラス、ライグラス) ・ 高温期薬害の確認 (コウライシバ、ノシバ、ベントグラス、ケンタッキーブルーグラス、ライグラス)
	ベントグラス	適用性 継続	泉パークタウンGC 東雲GC 東日本G研 植調埼玉 新中国G研 西日本G研 (6)	[メシバ] ・ 芝生育期 雑草生育期 ・ 0.1, 0.2, 0.3mL<100-200> ・ 茎葉処理		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草:ねらい] ・処理時期 ・薬量g・mL<水量L>/m ² ・処理方法	判 定	判定内容
SAH-001乳	ケンタッキー ブルーグラス	適用性 新規	札幌国際CC 泉パークタウンGC 格蘭ディ那須GC 那須ナースー (4)	[ヒシバ] ・芝生育期 雑草生育期 ・0.1, 0.2, 0.3mL<100-200> ・茎葉処理		
	ライグラス	適用性 新規	札幌国際CC 泉パークタウンGC 浜松シーサイド GC 新中国G研 (4)	[ヒシバ] ・芝生育期 雑草生育期 ・0.1, 0.2, 0.3mL<100-200> ・茎葉処理		
	ヘントグラス	作用性 継続	新中国G研 西日本G研 (2)	[倍量薬害] ・芝生育期 ・0.3mL<200> ・0.6mL<400> ・1.2mL<800> ・茎葉処理		
23. SB-201乳 新規化合物:25% [エス・ディー・エス ハ イオテック]	コウライシバ	作用性 新規	那須ナースー 新中国G研 (2)	[一年生雑草] ・芝生育期 雑草発生前 ・0.1, 0.2, 0.3, 0.4mL <200-300> ・土壌処理 対)ディクトラン乳 0.15mL<200-300>	一	(作用性)
	ノシバ	作用性 新規	那須ナースー 新中国G研 (2)	[一年生雑草] ・芝生育期 雑草発生前 ・0.1, 0.2, 0.3, 0.4mL <200-300> ・土壌処理 対)ディクトラン乳 0.15mL<200-300>		
	ヘントグラス	作用性 新規	<植調埼玉> 新中国G研 (2)	[ヒシバ] ・芝生育期 雑草発生前 ・0.1, 0.2, 0.3, 0.4mL <200-300> ・土壌処理 対)デュバサン 1.5g<200-300>		
24. SB-2027ロアブル 既知化合物:54% [エス・ディー・エス ハ イオテック]	ヘントグラス	作用性 新規	<植調埼玉> 新中国G研 (2)	[ヒシバ] ・芝生育期 雑草発生前 ・1, 2, 3mL<200-300> ・土壌処理 対)デュバサン 1.5g<200-300>	継	継) ・効果、薬害の確認(ヘントグラス)
	ヘントグラス	適用性 新規	太平洋C美野里C 静岡G場協会 関西G研 (3)	[ヒシバ] ・芝生育期 雑草発生前 ・1, 2, 3mL<200-300> ・土壌処理 対)デュバサン 1.5g<200-300>		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量・mL<水量L>/m ² ・ 処理方法	判 定	判定内容
25. SL-160顆粒水和 フラザスルホン:25% [石原産業]	ハ-ミュー ダ-グ-ラス	適用性 新規	静岡G場協会 花屋敷GC 新中国G研 (3)	[ハスダグ] ・ 芝生育期 雑草発生初期 ・ 0.02, 0.03, 0.04g<100-200> ・ 茎葉処理 対)シバダグ>水和 0.05g<150-200>	実 ・ 雑	[春夏作; (コウライシバ、ノシバ、ハ-ミュー ダ-グ-ラス) 一年生雑草, 多年生広葉 雑草, ヒメダグ] ・ 芝生育期、 雑草発生初期 ・ 0.01~0.03g<100~200mL>/m ² ・ 茎葉処理 注) ・ 展着剤を加用する ・ 萌芽期での処理では芝に薬 害を生じる事がある (ハ-ミュー ダ-グ-ラス除く)
	ハ-ミュー ダ-グ-ラス	適用性 継続	浜松サ-サイト GC 関西G研 (3) 西日本G研	[一年生雑草, 多年生広葉雑草, ヒメ ダグ] ・ 芝生育期 雑草発生初期 ・ 0.01, 0.02, 0.03g<100-200> ・ 茎葉処理 対)シバダグ>水和 0.025g<150-200>		
	コウライシ バ	作用性 新規	植調研究所 (1)	[萌芽期薬害] ・ 芝萌芽期 ・ 0.01, 0.02, 0.03g<100-200> ・ 茎葉処理		
	ノシバ	作用性 新規	植調研究所 (1)	[萌芽期薬害] ・ 芝萌芽期 ・ 0.01, 0.02, 0.03g<100-200> ・ 茎葉処理		
	ハ-ミュー ダ-グ-ラス	作用性 新規	新中国G研 西日本G研 (2)	[萌芽期薬害] ・ 芝萌芽期 ・ 0.01, 0.02, 0.03g<100-200> ・ 茎葉処理		
	ハ-ミュー ダ-グ-ラス	作用性 新規	西日本G研 (1)	[高温期薬害] ・ 芝生育期 (梅雨明け後) ・ 0.01, 0.02, 0.03g<100-200> ・ 茎葉処理		
	ハ-ミュー ダ-グ-ラス	作用性 継続	新中国G研 西日本G研 (2)	[倍量薬害] ・ 芝生育期, 雑草発生初期 ・ 0.03g<100> ・ 0.06g<200> ・ 0.12g<400> ・ 茎葉処理		
26. SYJ-111乳 S-メトクロ-ル: 83.7% [シンジエンタ ジャパン]	コウライシ バ	作用性 新規	植調研究所 西日本G研 (2)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.2, 0.25, 0.3, 0.4mL <200-300> ・ 土壌処理 対)デ-ュ-アル乳 0.7mL<200-300>	雑	雑) ・ 効果, 薬害の確認 (コウライシバ、ノシバ)
	ノシバ	作用性 新規	植調研究所 西日本G研 (2)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.2, 0.25, 0.3, 0.4mL <200-300> ・ 土壌処理 対)デ-ュ-アル乳 0.7mL<200-300>		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/m ² ・ 処理方法	判 定	判定内容
SYJ-111乳	コウライシ バ	適用性 新規	東日本G研 那須ナセリ 植調埼玉 関西G研 新中国G研 西日本G研 (6)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.2, 0.25, 0.3, 0.35mL <200-300> ・ 土壌処理 対)デュアル乳 0.7mL<200-300>		
	ノシバ	適用性 新規	東日本G研 植調埼玉 南長野GC 関西G研 新中国G研 西日本G研 (6)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.2, 0.25, 0.3, 0.35mL <200-300> ・ 土壌処理 対)デュアル乳 0.7mL<200-300>		
27. SYJ-19470アブ ラ ロジ アミン:40% [シンジエンタ ジャパン]	バ ー ミュー ダ グ ラ ス	適用性 新規	東日本G研 静岡G場協会 浜松シナド GC 関西G研 新中国G研 西日本G研 (6)	[一年生雑草(本科を除く)] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.125, 0.19, 0.25mL <200-300> ・ 土壌処理 対)カブ ロック水和 0.12g<200-300>	実 ・ 継	実) [春夏作; (コウライシバ、ノシバ、バ ー ミューダ グ ラ ス) 一年生雑草(本科を除く)] ・ 芝生育期、 雑草発生前 ・ 0.125~0.25g<200-300mL>/m ² ・ 土壌処理 継) ・ 年次変動の確認 (バ ー ミューダ グ ラ ス) ・ 倍量薬害試験での確認 (コウライシバ、ノシバ、バ ー ミューダ グ ラ ス) ・ 連用薬害試験での確認 (コウライシバ、ノシバ、バ ー ミューダ グ ラ ス) ・ 実証試験での確認 (コウライシバ、ノシバ、バ ー ミューダ グ ラ ス) ・ 萌芽期薬害での確認 (コウライシバ、ノシバ、バ ー ミューダ グ ラ ス) ・ 高温期薬害での確認 (コウライシバ、ノシバ、バ ー ミューダ グ ラ ス)
	コウライシ バ	作用性 新規	新中国G研 西日本G研 (2)	[連用薬害] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.26mL<200-300> ・ 土壌処理		
	バ ー ミュー ダ グ ラ ス	作用性 新規	新中国G研 西日本G研 (2)	[連用薬害] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.26mL<200-300> ・ 土壌処理		
28. SYJ-214水和 フルジ オリニル:50% [シンジエンタ ジャパン]	ベ ン ト ク ラ ス	適用性 継続	SG白河矢吹 東日本G研 関西G研 新中国G研 西日本G研 (5)	[藻類] ・ 芝生育期 藻類発生初期 ・ 0.2, 0.4g<500> ・ 茎葉処理 対)ダ コニルターフ 1.0mL<1000>	継	継) ・ 効果、薬害の確認(ベ ン ト クラ ス)

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/m ² ・ 処理方法	判 定	判定内容
29. プロシアン肥料粒 プロシアン:0.24% [日産化学工業]	ケンタッキー ブルーグラス	適用性 継続	泉パークランドGC グランディ那須GC 新中国G研 (3)	[一年生イネ科雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 15, 20, 30g ・ 土壌処理 対) 一任	実・ 継	実) [春夏作; (コライシバ、ノシバ) 一年生イネ科雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前 ・ 20~40g/m ² ・ 土壌処理 [春夏作; (コライシバ、ノシバ) 一年生雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前 ・ 30~60g/m ² ・ 土壌処理 注) イネ科雑草の発生の多い場所での使用は注意する [春夏作; (ケンタッキーブルーグラス; 北海道) スズメノカタビラ増殖防止] ・ 芝生育期 スズメノカタビラ発生前 ・ 10~20g/m ² ・ 土壌処理 [春夏作; (ケンタッキーブルーグラス; 東北以南) 一年生イネ科雑草] ・ 芝生育期 スズメノカタビラ発生前 ・ 20~30g/m ² ・ 土壌処理 継) ・ 15g 処理での効果の確認 (ケンタッキーブルーグラス (東北以南)) ・ 連用試験での確認 (コライシバ、ノシバ、ケンタッキーブルーグラス) ・ 倍量薬害試験での確認 (コライシバ、ノシバ、ケンタッキーブルーグラス)

B. 生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/m ² ・ 処理方法	判 定	判定内容
1. BES-004液 イソネ:21% [ハートクロップサイエンス]	ベントグ ラス	作用性 新規	植調研究所 (1)	[スズメノカタビラ出穂抑制] ・ 芝生育期 スズメノカタビラ出穂前 ・ 0.5, 1, 1.5mL/m ² (1回処理) 0.5mL→0.5mL/m ² (2回処理) 1mL→1mL/m ² (2回処理) 1.5mL→1.5mL/m ² (2回処理) ・ 散布水量 100~200mL/m ² ・ 2回目処理は1回目の1か月後 ・ 茎葉処理	継	継) ・ 効果、薬害の確認 (ベントグラス)

B. 生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/m ² ・ 処理方法	判 定	判定内容
BES-004液	ベントグ ラス	適用性 新規	SG白河矢吹 東日本G研 関西G研 新中国G研 (4)	[スズメノカタビラ出穂抑制] ・ 芝生育期 スズメノカタビラ出穂前 ・ 0.5, 1, 1.5mL/m ² (1回処理) 0.5mL→0.5mL/m ² (2回処理) 1mL→1mL/m ² (2回処理) 1.5mL→1.5mL/m ² (2回処理) ・ 散布水量 100~200mL/m ² ・ 2回目処理は1回目の1か月後 ・ 茎葉処理		
2. CB-201ME 既知化合物 11.1% [CBC]	コウライシ ハ	作用性 新規	新中国G研 西日本G研 (2)	[草丈抑制による刈込軽減] ・ 芝生育期 (5月中~6月下旬) ・ 0.05, 0.075, 0.15mL<50> ・ 0.05, 0.075, 0.15mL<100> ・ 0.05, 0.1, 0.2mL<150> ・ 0.05, 0.1, 0.2mL<200> ・ 茎葉処理 対) プリマックス液 0.1mL<150-200>	継	継) ・ 効果、葉害の確認
	コウライシ ハ	適用性 新規	太平洋C美野里C 植調埼玉 関西G研 <鳥取園試> (4) 新中国G研 (自主)	[草丈抑制による刈込軽減] ・ 芝生育期 (5月中~6月下旬) ・ 0.05, 0.075, 0.15mL<50> ・ 0.05, 0.075, 0.15mL<100> ・ 0.05, 0.1, 0.2mL<150> ・ 0.05, 0.1, 0.2mL<200> ・ 茎葉処理 対) プリマックス液 0.1mL<150-200>		
3. KUH-833FH70アブル プロヘキサシオンカルシウム 塩:25% [クミイ化学工業、理研 グループ]	ノシハ	適用性 継続	東日本G研 関西G研 西日本G研 (3)	[芽数増加] ・ 芝生育盛期 (5~8月) ・ 0.04, 0.06, 0.08mL<100-200> ・ 茎葉処理	実・ 継	実) [(ベントグラス、コウライシハ) 直立茎 数増加] ・ 芝生育期 ・ 0.04~0.06mL <100~200mL>/m ² ・ 茎葉処理 [(ノシハ) 直立茎数増加] ・ 芝生育期 ・ 0.04~0.08mL <100~200mL>/m ² ・ 茎葉処理 継) ・ 倍量葉害試験での確認 (コウライシハ、ノシハ) ・ 連用葉害試験での確認 (コウライシハ、ノシハ) ・ 実証試験での確認 (コウライシハ、ノシハ)

B. 生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・処理時期 ・薬量g・mL<水量L>/m ² ・処理方法	判 定	判定内容
4. SH-0602液 ヒト'ロキシノキサ'ール :16.5%, 水溶性燐酸:18%, 水溶性加里20% [三共ア'ロ]	ベ'ントグ'ラス	適用性 継続	東日本G研 太平洋C美野里C 静岡G場協会 関西G研 西日本G研 (5)	[ベ'ントグ'ラス生育促進] ・芝生育期 (6-8月) ・250倍, 500倍<500> ・1回/月 計3回 ・茎葉処理	実・ 継	実) [ベ'ントグ'ラス] 根部生育促進 ・芝生育期 (6-8月) ・250~500倍<500mL>/m ² ・1ヶ月1回 3回 ・茎葉処理 継) ・倍量薬害試験での確認 (ベ'ントグ'ラス) ・連用薬害試験での確認 (ベ'ントグ'ラス) ・実証試験での確認 (ベ'ントグ'ラス)
5. SYJ-2017ロアブル ハ'クロナ'トラゾ'ール :21.5% [シンジ'エンタ ジャパ'ン]	ベ'ントグ'ラス	作用性 継続	東日本G研 新中国G研 (2)	[連年施用] ・H19春→H19秋→H20春→H20秋 ・芝生育期 スズ'メカビ'ラ出穂前 ・0.08mL<100-200> ・茎葉兼土壌処理	実・ 継 (従 来 ど お り)	実) [春夏作; (ベ'ントグ'ラス) スズ'メカ ビ'ラ出穂抑制] ・芝生育期 スズ'メカビ'ラ出穂前 ・0.04~0.08mL <100~200mL>/m ² ・茎葉兼土壌処理 継) ・スズ'メカビ'ラ密度軽減効果につい て (ベ'ントグ'ラス) ・倍量薬害試験での確認 (ベ'ントグ'ラス) ・連用薬害試験での確認 (ベ'ントグ'ラス)
	ベ'ントグ'ラス	適用性 継続 (H19)	関西G研 (1)	[スズ'メカビ'ラ出穂抑制、密度低減] ・芝生育期 スズ'メカビ'ラ出穂前 ・0.04, 0.06, 0.08mL<100-200> ・茎葉兼土壌処理		